

個別事業名	(1) 子どもの発達支援の専門職による子どもの発達相談
事業の趣旨・目的	<p>中芸地区では、保護者自身の養育環境や子ども自身に発達課題があったり、家族背景、経済的問題等いくつかの要因が重なり育児困難な家庭が多く、また核家族化も影響し育児の伝承ができないという地域課題があり、平成23年度より子どもの発達や子育て支援の専門機関（NPO法人）と伴に、相談支援や巡回支援事業を行ったところ、育児支援が必要な子どもが4割に上がってきた。近年、低体重児や重度の障害児の出生も増えてきている現状があり、これまでの支援事業では限界が生じ、中芸地区でできる支援の幅を広げることで、安心して子育てできる地域づくりの必要性が明らかになった。</p> <p>巡回支援専門員整備事業では、幼稚園等の職員が子どもの問題行動の対応に苦慮しており、民間のスーパーバイス研修を見学した際に、子どもの問題行動には必ず原因があることを認識し具体的な対処方法を目の当たりにして、それぞれの職場で実践してみても成果を実感している。</p>
先 駆 性	<p>子どもには、一定段階の発達が必要であり、中芸地区内での巡回支援専門員整備事業等によると4割程度の子どもに発達支援や育児支援が必要となっている実情を考慮すると、大なり小なり全ての子どもに支援が必要である。このため問題性の高いケースや養育困難に陥っている場合等に対するスーパーバイス（OT、学習支援専門員、親支援専門員、助産師、心理カウンセラー）を行い、子どもの育つ力を引き出す関わりを行う。これまでの専門機関へ繋げるやり方では一方通行に終わり、各施設のスタッフも長期的な支援ができなかったが、スタッフも問題の原因を知り、対処方法を学ぶことでOJTとなりスキルアップにもなる。各施設のスタッフのスキル向上は、子どもやその保護者への直接的な支援につながり、子育て支援となる。</p> <p>また、子どもの発達支援は、集団生活に向かうための「小集団保育（プレ保育園）」からつながる1つのステップとして行う事業であり、必要な事業である。</p> <p>先駆的な取り組みとして、発達支援の専門職のノウハウを取り入れる。人間の生まれつきの気質には生物学的な差異があり、この気質が行動として現れる原因には、親の扱い方や保育園などでのケア等の作用によって決まるため、子どもが何をしたいのかを感じとり、それが可能な環境設定を行い、子どもが自ら試行錯誤できるよう見守り成功するまで失敗することができる環境を子どもの気質や個性に合わせて設定する能力を習得することで、各施設のスタッフが日頃の業務において、子どもが自ら発達する力を発揮できる環境をつくることを学ぶ。これまで保育士や幼稚園教諭等の知識を超えて、子どもの気質や個性を見極め適切に対応する能力を習得して子育て支援を行う自治体は他にない。</p> <p>巡回支援専門員整備事業や相談支援事業を通じて、各施設のスタッフやNPO法人で情報交換等を行い、事例を通じて検証を行いより効果的な支援方法や成果等を共有できる体制づくりを図る。</p> <p>また、保護者自身の育成を図るため、親支援専門員等のアドバイスを受けながら、保護者のワークショップを行い、保護者自身の経験を後輩となる親へアドバイスできるシステムづくりや、共に生きる地域づくりを目指し、地域の理解者やリーダーシップを発揮できる保護者を増やす。将来、親から離れていく子どものことを冷静に受け止める力をつける準備ができるよう自助グループの発足を促す。</p>
主 な 実 施 内 容	子どもの発達ということを軸にして、発達の捉え方、理解の仕方、対応の仕方等をスーパーバイスする。
所 要 見 込 額	526,000 円